

全国高校バスケットきょう開幕 光星 初戦突破へ「守り大事」



初戦に向け、練習に汗を流す八学光星の男子メンバー
＝22日、東京海洋大

第76回全国高校バスケットボール選手権（ウインターカップ）は23日、東京体育館などで開幕する。29日までの7日間にわたり、各都道府県代表や高校総体王者など男女各60チームが「冬の日本一」を目指して熱戦を繰り広げる。青森県勢は男子の八学光星、女子の柴田が出場。いずれも開幕日の23日に初戦を迎える。

男子の八学光星は昨年の大会で悲願の全国初勝利を

達成。その時の主力がほぼ残り、8強入りすれば立てるメインコートを目指す。1回戦の相手は川内（鹿児島）。先発メンバーの平均身長はあまり変わらず、八学光星と同様、堅守速攻をモットーとするスタイルだ。得点力の高い選手が2人いるため、守備が鍵となりそうだ。

八学光星は初戦を翌日に控えた22日、東京海洋大で調整。2対2の練習や攻め方の確認など、約3時間に

わたって汗を流した。上山琉生主将は「全員で声を出してディフェンスすることが大事になる」と川内戦のキーポイントを挙げ、「この大会のためにやってきた。同じブロックには強豪が多いが、挑戦してメインコートで試合をしたい」と力強く意気込んだ。

昨年16強の女子の柴田は、1回戦で龍谷富山（富山）と対戦。1点差に泣いた今夏の高総体の雪辱を果たしたい。（磯野雄太郎）